

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成29年 3月15日

計画の名称	2 能美根上S I C (仮) へのアクセス向上により、地域経済の活性化や利便性の向上を実現する道路整備							変更回数	3	重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)			交付対象	石川県、能美市												
計画の目標	能美市周辺地域においては、高速道路インターチェンジが設置されていないため、高速道路へのアクセスが不便な状態となっており、市内の工業団地や観光施設等から高速自動車道へのアクセス時間の短縮が望まれている。そこで、スマートインターチェンジの新設、インターチェンジへのアクセス道路を整備することにより、既設企業の輸送時間短縮や円滑化の支援、周辺の観光・レクリエーション施設へのアクセス時間短縮を行い、利便性を向上させ、来訪者の増加や地域の活性化を目指す。																
計画の成果目標 (定量的指標)	工業団地等の生産拠点や観光施設等から高速道路インターチェンジへのアクセス時間を短縮することにより、来訪者の増加や産業の活性化を図る																
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考						
								当初現況値	中間目標値	最終目標値							
								(H26当初)		(H30末)							
	インターチェンジアkses10分圏内人口確保率 (能美市内) ( I Cアクセス10分圏内人口確保率 ) (評価時) = 10分圏内人口 / 能美市人口							約16%		約80%							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	8,059百万円	A	8,059百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
<b>交付対象事業</b>																	
<b>A 基幹事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
2-A1	道路	一般	石川県	直接	石川県	川北縦貫道路 山島台~老ッ屋	現道拡幅 L=3.4km	白山市、川北町						250			P1へ移行
2-A2	道路	一般	石川県	直接	石川県	川北縦貫道路 老ッ屋~橋	現道拡幅 L=4.7km	川北町						3,100			P1へ移行
2-A3	道路	一般	石川県	直接	石川県	能美東西連絡道路 湯谷~末信	バイパス L=1.8km	能美市						500			P1へ移行
2-A4	道路	一般	石川県	直接	石川県	能美東西連絡道路 中ノ江町~高堂町	バイパス L=1.5km	能美市、小松市						1,500			P1へ移行
2-A5	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 寺島小松線 寺島町~和気町	バイパス L=2.1km	能美市						282			P1へ移行
2-A7	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 金沢美川小松線 福島町~橋新町	バイパス L=2.6km	能美市、川北町						100			P3へ移行
2-A8	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 高堂寺井線 高堂町~寺井町	バイパス L=0.5km	能美市						410			P1へ移行
2-A9	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 木曾街道線 (能美S I C) 吉原釜屋町	道路新設 L=1.0km	能美市						1,450			
2-A10	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 吉原釜屋大浜線ほか	道路新設 L=0.3km	能美市						267			
2-A11	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 木曾街道線	道路改良 L=0.55km	能美市						200			
合計													8,059				
<b>B 関連社会資本整備事業 (該当なし)</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				
<b>C 効果促進事業 (該当なし)</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	358.550	129.061	239.941		
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000		
交付額 (c=a+b)	358.550	129.061	239.941		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	232.194	55.127		
支払済額 (e)	126.356	306.127	201.302		
翌年度繰越額 (f)	232.194	55.127	93.766		
うち未契約繰越額 (g)	175.462	16.760	0.000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	48.9%	4.6%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	S I C整備事業において、一からの 公図修正が必要となり、地元との境 界立会や書類申請に不測の日数を要 したため				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 能美根上SIC(仮)へのアクセス向上により、地域経済の活性化や利便性の向上を実現する道路整備

事業主体名: 石川県、能美市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 5 その他(以下の空欄に計画名を記載)</small>	
<b>②地域等の課題への対応</b>	
1)地域の課題及び利用状況を踏まえて事業内容が検討されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤地元の機運</b>	
1)事業内容について地元の意見が繁栄されている。	○
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○